



谷原小だより 10月号

令和元年10月1日

練馬区立谷原小学校

校長 池上 育志

★ 「～の秋」

副校長 唐澤 邦男

9月は、台風15、16、17号が日本列島を直撃し、様々な地域で大きな被害をもたらしました。その影響で、本校でも6年生が楽しみにしていた岩井移動教室が延期になり、下田移動教室に変更になりました。この台風で被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げますと共に、一刻も早い復旧を願っております。

さて、10月を迎えました。いよいよ秋本番を迎えます。秋と言えば「読書の秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」を連想する方が多いのではないのでしょうか。夏の暑さも一段落して過ごしやすくなる秋です。人が集中するのに最適な気温は18度前後と言われます。湿度もあまり高くない秋はまさに読書、スポーツ、芸術そして勉強にぴったりの季節です。

さて、「スポーツの秋」のこの季節に、『ラグビーワールドカップ2019™日本大会』が9月20日の「日本対ロシア」戦を皮切りに開幕しました。決勝戦は11月2日（土）で、約1か月半に及ぶ期間、各国の代表チームがそれぞれの国の威信を賭けて熱戦を繰り広げていくことでしょう。

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、ラグビーの起源は「1823年、イングランドの有名なパブリックスクールであるラグビー校でのフットボールの試合中に、ウィリアム・ウェッブ・エリス少年がボールを抱えたままゴールを目指して走り出した」ことだとされています。当時のラグビー校のフットボールのルールでは、ボールを手で扱うことは問題ではなく、ボールを持って走った行為がルール違反でした。その後、ボールを手で持って走るプレーが普及していきます。やがて、フットボールはボールを手で扱うことを反則とした「サッカー」と、手や足を駆使してプレーする「ラグビー」等に分かれ、ルールも整備され現在に至ります。

子供たちにとって、ラグビーはまだまだ馴染みが薄いスポーツかもしれません。ぜひ、このワールドカップの機会に、1試合またはダイジェストでも構いません。スポーツの秋の一つとして、スポーツ観戦の一つに、ぜひラグビーも加えてみてはいかがでしょうか。

来年は、東京オリンピック・パラリンピックです。大きな大会が続きます。東京都教育委員会の計らいで、本校は令和2年8月31日にパラリンピックのパワーリフティングを観戦しに行くことが決まりました。場所は東京国際フォーラムで、学年は5、6年生です。詳細については来年度になってからお知らせします。

次に、勉強の秋ということで、「谷原未来塾」についてお知らせします。昨年度の2、3学期に実施した「谷原未来塾」を今年も開講します。しかし、今年度、学級数が1学級増えた関係で、使用できる教室が算数少人数教室しかありません。

そこで、今年は、この一部屋を利用してできることを検討してきました。その結果、「かけ算九九がすべて言える」をねらいとして「未来塾」を始めてはどうかと考えています。そうすると、対象は、まず3、4年生の児童ということになります。苦手な段がある。間違えやすい九九がある。すぐに出てこない九九がある。といった児童に対して補充的な学習の場を提供するわけです。時間は5～30分。児童の状況に合わせて下校させていきます。できるようになれば、すぐに卒業します。2学期後半には、3、4年生がほぼ卒業できることが予想されるので、対象を、かけ算の学習を始めた2年生にし、授業に合わせて、九九の定着を図る学習の場を提供していきます。

現在、学校支援コーディネーターや各担任と相談中です。漢字の学習についても検討しているところなので、はっきりしたことが決まりましたら、またお知らせしますのでよろしくお願いいたします。

秋本番。子供たちは、それぞれの「～の秋」に挑戦していくことでしょう。大きな実りにつながることを願っています。

3年生より

練馬大根の種を蒔きました！

3年生は、2学期から総合的な学習の時間に大根を育ててたくあん漬けにする体験と、練馬大根について調べガイドブックにまとめる学習を行います。

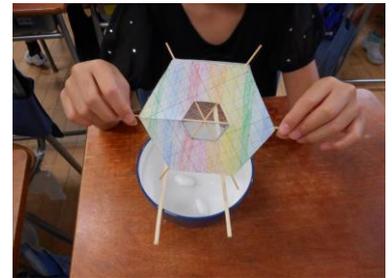
9月6日（金）には、学校農園に行き、練馬大根の種を蒔いてきました。気温が高く、少し歩くと汗が噴き出すような日でしたが、子供たちは、事前に学校で説明された注意を守って、丁寧に種を蒔いていました。



カイコの糸取りをしました！

9月14日（土）学校公開の日に1学期に育てたカイコの繭から、絹糸を取りました。

お湯につけた繭から糸がほぐれてくると、自分で作った糸巻に懸命に糸を巻き取っていました。保護者の方にも手伝っていただき、大変助かりました。ありがとうございました。



図書室より

図書室をたくさん利用してください

学校図書 田代 順子

谷原小学校の図書室は、本がきれいに揃っていていつも快適に本を読んだり、貸し借りができたりします。このすてきな図書室はたくさんの人によって支えられています。図書管理員さん（佐野さん）や、放課後の図書開放の方たちは本がきれいに気持ちよく読めるように日々心を配っています。昼休みにはお母さんたちのボランティアさんも貸し出し返却をしてくれています。5、6年生の図書委員会の児童は、中休みの貸し出し返却をしたり、本の整頓などをしてしています。

9月に、本をパソコンで管理する為の準備がありました。1冊1冊に本の情報シールが貼られました。2月からの貸し出しは、バーコードでし、本の情報などの管理はパソコンであつという間にできるようになります。図書室にある本がどこにあるかなどの情報はパソコンが教えてくれるようになります。便利になる点もありますが、やはりたくさんのお手で支えられていることには変わりありません。すてきなたくさんのお手たちで支えられている図書室なので、どんどん使ってたくさん本を読んでほしいです。放課後の開放ではお家の方も利用することができます。

秋の読書旬間が2日から始まります。休み時間には図書委員会のお手がお手考えたビンゴなどの取り組みもあります。読書の楽しさを味わって本好きのお手が増えてほしいと取り組んでいます。

4年生より

9月17日（火）に、ふれあい環境学習をしました。社会科の学習の一環として、清掃局の方を学校に招いて、ごみ処理や清掃工場のことを教わります。まず、ごみの分別体験をしました。色々な品物を用意された籠に分けていきます。一学期に学習しているのですが、実際に分けるとなると、子供たちは迷い、話し合いながら分けていました。そして、ほとんどが再利用できる資源であることを知り、改めてごみを分別することの大切さに気付いていました。



その後、練馬区に一台しかないという貴重なスケルトン清掃車を見学しました。ごみを圧縮しながら収納していく様子がよく分かり、子供たちから歓声が上がりました。東京港の最終処分場が残りわずかなこと、また、最近話題になっている海ごみのことについても、お話を聞きました。ごみを巡る問題が身近なものであることに気付き、子供たちは真剣なまなざしで聞いていました。今回の学習を生かし、ご家庭でも、ごみを減らすことを意識して生活してほしいと思います。

国語の時間には「のはらうた」を読んで、詩を作りました。子供たちは、身近な生き物や道具などの「なかまたち」になりきって作っていました。書いているうちに、子供たち自身の思いや願いも、詩の中に込められていくようでした。伸び伸びと、絵を描いて仕上げました。廊下に掲示しますので、ご来校の際は、ぜひご覧ください。

図工室より

図工専科 高橋史樹

未来をつくる子供たちの創造力

AIの進歩により、私たちの未来は大きく変化しそうですが、豊かな創造力が未来をつくる上で欠かせないものであることは変わりません。図工の時間を通して、子供たちが創造することを楽しむことができるように授業を考えています。

展覧会に向けて！

展覧会はまだ先ですが、子供たちは図工の時間の中で楽しく活動しています。自分の中からあふれてくるイメージや思いを実現するためにアイデアを出したり、つくり方を工夫したりします。そして、それが形になっていく様子を見る瞳はとても輝いています。しかし、時には思い通りにいかないときもあります。すると結果ばかりが気になってしまいます。そんな時にこそ、ご家庭の応援が子供たちを支えます。あきらめずに頑張った姿勢や思い付いたことを試した勇気を認め、そこに込められた気持ちを聞いてあげてください。引き続きのご理解ご協力よろしくお願いたします。



10月の予定

	曜	予定	
1	火	都民の日 公開日 遠足4年	
2	水	避難訓練 4時間授業 読書旬間 研究授業1-2平嶋学級	
3	木	健康の日 安全指導 くすのき宿泊説明会	
4	金		
5	土		
6	日		
7	月	クラブ⑥ 教育実習始	
8	火	生活科見学2年 くすのき個人面談	
9	水	事前検診5年	
10	木	武石移動教室始5年 サミット見学3年 くすのき個人面談	
11	金		
12	土	学校公開 武石移動教室終5年	
13	日		
14	月	体育の日	
15	火	委員会⑦（後期開始）	
16	水	区内研究会のため特別時程 4時間授業 6-1 相原学級 6-3 二宮学級研究授業	
17	木	個人面談のため4時間授業	①
18	金		②
19	土		
20	日		
21	月	くすのき事前検診	③
22	火	即位礼正殿の儀	
23	水	くすのき軽井沢宿泊学習始	④
24	木	↓	⑤
25	金	くすのき軽井沢宿泊学習終	
26	土		
27	日		
28	月	クラブ⑦ 水曜時程掃除なし	
29	火	秋の歯科検診1, 2, 5年くすのき	
30	水		
31	木	秋の歯科検診3, 4, 6年 特別支援学級合同運動会	

新しく着任された先生を紹介します。

うちだ かず
内田 一教諭

産休を取った新居教諭（くすのき学級）の代替教員として、9月13日から勤務しています。
よろしくお願ひします。

多くのサポートを谷原っ子に

生活指導主幹 関谷 宣明

「子は親の鏡」（一部抜粋）

（ドロシー・ロー・ノルト作）

励ましてあげれば、子供は自信をもつようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子供は明るい子に育つ
愛してあげれば、子供は人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子供は自分が好きになる
見つめてあげれば、子供は頑張り屋になる
守ってあげれば、子供は強い子に育つ

学校では、この題名を「子は大人（教師）の鏡」と捉え、教育活動に励んでいます。親の愛情やサポートはもちろんですが、担任や周囲の大人からたくさんのサポートを受けた子供は、自己肯定感が強まるとともに、私は誰かの役に立っているという自己有用感が高まるとの、研究結果がセーフティプロモーションスクールの実践結果として出ています。

今夏、生活指導担当者研修会では、上記のような大人のサポートを受けた児童は、自分自身の安全管理にも前向きに捉える傾向が強いことが示されました。

例えば、「暗くなったら一人歩きは控えたほうがよい。」「エレベーターに乗る際には、知らない人とは一緒に乗らない。」等、教えてもらったことを素直に実践する傾向が強いとのことでした。

また、大人の責任として具体的に示されたことの一つに「防犯ブザーの高さの調節」があります。お子さんの防犯ブザーは、前腕が動く位置に付いていますでしょうか。咄嗟に防犯ブザーを鳴らすには、ランドセルの横ではなく、肩かけの胸の辺りに付けることが推奨されています。高学年になると、中には防犯ブザーの電池が切れたままになっているお子さんもいます。今一度、防犯ブザーの点検をお願いします。

「手をかけ、目をかけ、心をかける」関わりを通し、児童の健やかな成長をこれからも促していきます。

安心安全ボランティアの方々をはじめ、クラブ指導員の方々、図書ボランティアの方々、そしてPTAの全ての活動に心より感謝申し上げますとともに、これからも多くのサポートを谷原っ子にお願ひ致します。